

生命科学図書館開館20周年記念企画展示第2弾 中之島分館から生命科学図書館へ：私の情報収集



中之島分館閲覧室



生命科学図書館

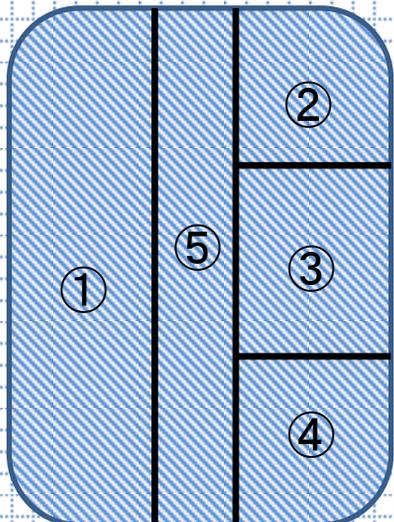
研究環境や情報環境は急速に変化して、研究者の情報収集、管理の方法、研究方法は時代とともに変わってきました。論文の流通量の増加、各種ツールの発展には目覚ましいものがありますが、時代を経ても情報の検索方法の習得や教育、読んだ文献の分類や管理、読むべき文献の選択などは依然として我々を悩ませます。

この展示では生命科学図書館開館20周年を機会に生命科学図書館の前身である中之島分館時代に発行された『NAKATO NEWS』の連載「私の情報収集」を中心に、今から考えると制限のある環境の中で工夫されてきた方法、あるいは時代を経ても変わらない姿勢を見ていきます。そこから今でも

使える整理法や思考法のヒントを見つけてみませんか。それとともに、生命科学図書館の歴史も感じていただけたら幸いです。

展示の構成

- ① NAKATO NEWS
- ② 生命科学図書館の20年
- ③ 情報を活用するために
- ④ 古典から整理や思考法を考える
- ⑤ ツールあれこれ



▲ 現在地

- 1954 IBM701初めての情報検索システム実験
- 1960 中之島分館竣工
- 1961 TOSBAC4131JEIPAC 日本初のコンピュータによる情報検索システム
- 1964 MEDLARS完成
- 1969 Machine Readable cataloging MARC (機械可読目録) 開発、頒布開始
- 1970 ゼロックス、カラー複写機発売
- 1971 MEDLINE(MEDLARS On-Line)サービス開始
ORBIT (情報検索システム)
Project Gutenberg開始
WorldCat開始
- 1972 DIALOG開始 (米)
- 1976 JICST、JOIS(JICST On-Line Information System)開始
国産初マイコンTK-80 (日電)、8ビットパソコンLiKit-8 (富士通) 発売
- 1977 医学・生物学系外国語雑誌の全国拠点図書館に指定
- 1978 JAPAN/MARC開発 (CD-ROM)
DIALOGが日本で商用オンラインサービス開始
- 1981 IBMがパーソナルコンピュータの発売を開始
- 1984 東京大学文献情報センター (現NII) が目録所在情報サービス (NACSIS-CAT) 開始
- 1985 FileMaker1.0リリース
- 1987 NIFTY、NIFTY-Serveをスタート
- 1988 OPACサービス開始
エレクトロニック・ライブラリー、サービス開始
- 1989 CD-ROM情報検索サービス開始
www誕生
- 1992 生命科学図書館竣工
医中誌CD-ROM版
検索実験プロジェクトTREC開始
- 1994 OPACの学内LANサービス開始
Linux1.0リリース
Netscape Navigator発表
- 1995 windows95発売
Yahoo!登場
Internet Explorer登場
Java言語を開発
amazon.com創立
- 1996 電子ジャーナル導入
- 1997 WWW版OPACサービスを開始
NACSIS Webcatサービス開始
PubMedサービス開始
Web of Scienceサービス開始
青空文庫開始
- 1998 Google設立
J-STAGE開始
- 1999 最初のRSSを開発
DOI登場
iモードサービス開始
2ちゃんねる開設
- 2000 CrossRefによるリンクサービス開始
医中誌Webサービス開始
- 2001 Wikipedia登場
- 2004 SCOPUSサービス開始
Google Scholarサービス開始
facebook登場
Skype正式リリース
ブログサービス開始
- 2005 CiNiiサービス開始
Webcat Plusサービス開始
YouTube登場
- 2006 JDream II (JDream+JOIS)
Twitter登場
Microsoft Academic Searchサービス開始
ニコニコ動画登場
- 2007 PORTAサービス開始
USTREAM登場
- 2008 mendeleyサービス開始
- 2009 JAIROサービス開始
Reaxys web版サービス開始
iTunes U登場
- 2011 CiNiiBooksサービス開始
readcube登場
- 2012 NDLサーチサービス開始

